

## ガラスびんに関する自主行動計画の2008年度フォローアップ結果

### ガラスびんリサイクル促進協議会

#### 【リデュース】

2010年度目標	2008年度取り組み実績
2004年(基準年)対比で2010年に1本あたりの重量を1.5%軽量化する。	2008年は2004年対比1本あたり1.4%軽量化できた。2008年に軽量化された品目は、7品種26品目であり、軽量化重量は1,527トン。総重量に占める割合は0.12%であった。また単純1本当りの単純重量は、184.9gで2004年に比較すると7.4g(3.8%)減少した。

#### 【リユース】

2010年度目標	2008年度取り組み実績
リターナブルシステムの調査研究を行う。	(1) リターナブルびんポータルサイトを構築し、2009年2月サイトを公開した。リターナブルに取り組む企業・商品紹介をはじめ、さまざまなリターナブルびんに関する情報を掲載し、活動の「見える化」を行った。2009年には、サイトの普及啓発と地域での活動促進を目的に5地区でシンポジウムを開催している。 (2) 2009年は、量販市場における空びん回収システムの研究会と外食居酒屋チェーンでのリターナブル商品の取り扱いシステムモデル事業を実施している。

#### 【リサイクル】

2010年度目標	2008年度取り組み実績
<p><b>【カレット利用率】</b> エコロジーボトル(その他色カレット多量利用)の普及を図るなどして、カレット利用率91%を達成する。 リサイクル率70%以上に目標を変更。</p> <p><b>【リサイクル容易性向上】</b> ラベル、キャップ等に関して易リサイクル性の向上を図る。</p>	<p>リサイクル率は、66.5%(対前年▲3.6%)となった。従来再生材使用促進のために資源有効利用促進法で指定された「カレット利用率」は、所期の目標を達成できたため、今後は、1本のガラスびんにおける再生材使用割合を示す「カレット使用率」を採用することとした。カレット使用率73.8%。エコロジーボトルの出荷量は、105百万本となり前年に比べて5.6%減少した。 「化粧品びん」の分別収集促進活動は、日本容器包装リサイクル協会と連携しながら全国の自治体に呼び掛けた。 (2009年3月自治体実態アンケート調査:39%の自治体が実施)</p>

#### 【広報活動】

2010年度目標	2008年度取り組み実績
3Rを推進するための自主設計ガイドライン(ガラスびんの組成、質量、形状、ラベル、キャップ等に関する事項)を策定し、製造・利用事業者への周知・徹底を図る。	<p>消費者向け啓発冊子「ガラスびんの3R」を、消費者意見の反映・監修のうえ製作(5,000部) 2009年には、ガラスびん3R総合パンフレット(ガラスびんBOOK)を制作(10,000部) HPは、キッズサイトの抜本的な改善と消費者・自治体に向けた情報発信性の高いコンテンツに改善中。 またガラスびん3R啓発メッセージの開発と普及の目的でエビデンスの整理とコンテンツの作成に取り組んでいる。</p>

## 【リデュース】

### (1) 軽量化実績

- ・2008年に軽量化された主な品目は、7品種26品目（表1）であり、軽量化重量は1,527トン、総重量に占める割合は0.12%であった（表2）。
- ・軽量化効果が大きかった品目は、「調味料・酢」・「ワイン」・「焼酎」。軽量化重量は、各368トン・318トン・220トンであり、3品目で59%を占めた。
- ・軽量化の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表1】 2008年に軽量化された品目

品種	品目（ ）内は品目数
薬びん	細口びん（1）
食料品びん	ジャム（2）、コーヒー（2）、食用油（1）
調味料びん	たれ（2）、酢（2）、ソース（1）つゆ（1）調味料（2）
ウイスキーびん	ウイスキー（1）
焼酎びん	焼酎（7）
その他洋雑酒びん	ワイン（3）
飲料びん	サイダー（1）

【表2】 軽量化重量実績（2008年：単位 t）

軽量化重量合計	生産重量	軽量化率
1,527	1,266,233	0.12%

### (2) 1本当たりの単位重量変化

- ・2008年のガラスびん1本当たりの平均重量は184.9gとなり、前年の186.4gに比べて1.5g（0.8%）の減少となった。  
目標設定の基準年である2004年（192.3g）に比べると、ガラスびんの1本当たりの単純平均重量は7.4g（3.8%）減少している。（表3）
- ・減少要因としては、既述軽量化が寄与している。
- ・なお軽量化率の算出に当たっては、単純1本当たりの重量を比較する方法ではなく、基準年度に対する各品目の軽量化率を算出し、さらに全体の総重量に占める構成比を考慮する加重平均方式を採用しており、基準年対比1.4%の軽量化となっている。（表4）

【表3】 1本あたりの単位重量推移

	2004年 (基準年)	2005年	2006年	2007年	2008年
本数（千本）	7,262,950	7,218,336	7,158,306	7,049,797	6,846,912
重量（トン）	1,396,582	1,351,523	1,343,925	1,313,830	1,266,242
単位重量（g/本）	192.3	187.2	187.7	186.4	184.9

【表4】 品種別軽量化率推移

	2004年 (基準年) 単位重量	2005年 基準年=100 指数	2006年 基準年=100 指数	2007年 基準年=100 指数	2008年 基準年=100 指数
薬びん	125.2	101.9	115.0	109.4	<b>110.9</b>
小びんドリンク	102.9	100.6	94.6	93.5	<b>99.9</b>
化粧品びん	89.4	115.3	112.7	130.7	<b>104.6</b>
食料品びん	195.9	107.5	97.6	99.6	<b>96.0</b>
調味料びん	187.8	101.7	102.1	101.8	<b>99.1</b>
牛乳びん	197.8	92.1	73.8	79.9	<b>67.6</b>
酒類びん	392.7	96.1	102.9	100.8	<b>100.6</b>
飲料びん	182.9	102.8	96.9	98.0	<b>97.9</b>
合計	192.3	100.5	99.0	98.7	<b>98.6</b>

## 【リユース】

### (1) リターナブルびんポータルサイトの構築

(平成20年度経済産業省：地域省エネ型リユース促進事業)

(目的) リターナブル商品を販売している企業や商品といった情報ははじめ、一般の消費者にとってリターナブルびんに関する情報がほとんどない状況下、3R推進における優先概念である「リユース」促進に向けて、幅広く情報を提供・「見える化」し、啓発活動推進の一助とする。

(事業推進主体) ガラスびんリサイクル促進協議会

(事業内容) リターナブル商品を販売する企業・商品情報の検索ナビ、業界別リターナブルびん取組み状況、年間流通量、LCA評価、リユースモデル事業、NPOの組織・活動紹介等々効果的なリターナブルびんの売場づくり・ネックリンガーによる環境保全意義の訴求

(成果と課題) 2009年2月25日専用サイト「リターナブルびんポータルサイト」を立上げた。初年度検索ナビのエントリー企業を500社に設定したが、約190社にとどまった。企業向けのPRが今後の課題である。

### (2) 2009年度の取組み概要

①リターナブルびん もっと知ろうよ！大作戦（シンポジウム）の展開

東京（7月）・京都（9月）・仙台（10月）・名古屋（11月）・福岡（2010年2月）に地域の行政・NPO・企業が参画してリターナブルびん促進に向けたシンポジウムを実施。

②量販市場研究会

4量販企業の協力を得て、量販店におけるリターナブルびん・空びん回収システムの研究を行った。

③外食居酒屋チェーンにおけるリユースびん展開モデル事業への取組み

平成21年度環境省地域省エネ型リユースモデル事業として、ワタミエコロジー社と連携して、ワタミグループ約400店舗を対象としたPB清酒のリユース化事業に取り組んでいる。

## 【リサイクル】

本年度より、ガラスびんのリサイクル状況を算出する指標を、よりわかりやすくかつ重要と思われる指標に変更した。（定義は、左図参照）  
リサイクル率、カレット使用率（1本のガラスびんに含まれる再生資材の割合）、びん to びん率（びんに再利用された割合）の3指標で今後は、報告していく。

【直近3ヶ年のリサイクル指標の動向】

○リサイクル率（平成18年～20年）

61.3% ⇒ 70.1% ⇒ 66.5% (▲3.6%)

○カレット使用率

71.5% ⇒ 72.7% ⇒ 73.8% (+1.1%)

○びん to びん率

78.0% ⇒ 80.0% ⇒ 85.4% (+5.4%)

### リサイクル率とは

分母：出荷量+輸入量-輸出量=国内消費量

分子：カレット商と他用途事業者が、びんメーカーや他用途再生品メーカーへ納入した量

### カレット使用率とは

分母：年間総溶解量

分子：びん製造工場での溶解窯へのカレット投入総量  
(市中カレット+工場内発生カレット)

### びん to びん率とは

分母：びんメーカー・他用途事業者へ納入した  
再商品化重量

分子：びんメーカーへ納入した再商品化重量

## 【広報活動】

消費者向け啓発冊子「ガラスびんの3R」を、消費者意見の反映・監修のうえ製作（5,000部）  
2009年には、ガラスびん3R総合パンフレット（ガラスびんBOOK）を制作（10,000部）  
ひろく3R啓発ツールとして展開している。

ホームページにおいては、キッズサイトの抜本的な改善と消費者・自治体に向けて、当協会からの情報発信性の高いコンテンツに改良し、より連携してガラスびんの3Rを推進できる仕組みづくりに取り組んでいる。

またガラスびん3R啓発メッセージの開発と普及を行う目的で研究会を立上げ、エビデンスの整理とコンテンツの作成に取り組んでいる。